

大会時・コロナ禍での取組

・コロナ禍になる前から、東京2020大会も見越してテレワークを推進。働き方改革の一環としても推進

人の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリパラ コロナ禍

- テレワーク・・・・・・・・・・ 実施率約7割（営業部は全員が実施）
- オフピーク通勤（時差Biz）・・ 既存のフレックス制度を活用（コアタイム11：00～15：00）
- 会議等のオンライン化・・・・・・・・ 社内外ともにオンライン会議
- 手続きの電子化

物の流れ

きっかけ

 以前より実施 オリパラ コロナ禍

自社はサービス業であり、商品や製品の製造がなく、
配送自体の作業もないため、特に無し

取組ポイント

- 既存の制度の活用で時差Biz促進
- 会議等のオンライン化により移動時間減で業務効率もUP

今後の取組

人の流れ

継続して取組を実施予定

- テレワーク・・・就業規則にも規定、今後も継続
- オフピーク通勤
- 会議等のオンライン化
- 計画的な休暇の取得
- 手続きの電子化

物の流れ

特に無し

【東京2020大会を振り返って】

- ・人の流れに関する取組みはスムーズに実施できた。
- ・書類等の電子化により作業も効率化され、今まで無駄な作業をしていたことに気が付く社員も多かった。